

安全保障と防衛力に関する懇談会説明資料

平成21年3月26日

社団法人日本防衛装備工業会 会長 野間口 有

防衛生産・技術基盤の維持・向上

1 防衛生産・技術基盤の現状

- ・ 防衛生産基盤、技術基盤はユーザーである自衛隊が必要とするところに源泉
- ・ 企業の防衛依存度(総売上高に占める防衛売上高の割合)は低く、高い企業はほとんどが中小企業で緊要な地位

図1 防衛依存度別企業数

- ・ 予算規模の縮小に伴い、装備品等の生産量が減少するとともに熟練技術者も減少・高齢化、技術の伝承に問題が生ずる等、生産・技術基盤が脆弱化

図2 装備品等の予算の推移

図3 装備品の生産量と製造に直接従事する従業員数の一例

- ・長期にわたる防衛生産の抑制等が防衛への投資意欲を減退、防衛生産から撤退する重要企業が出現

2 技術力と安全保障

- ・技術力の優劣が戦闘の優劣を決定
- ・友好国との共同研究、共同開発により技術基盤を維持・向上するとともに、技術の孤立化を防止
- ・技術なくして安全保障なし

3 防衛生産・技術基盤の課題

- ・生産基盤、技術基盤は一度失うと再構築は困難、維持が必要
- ・特定の装備品の生産等に係わる基盤の維持
- ・技術力を高いレベルで維持するため、

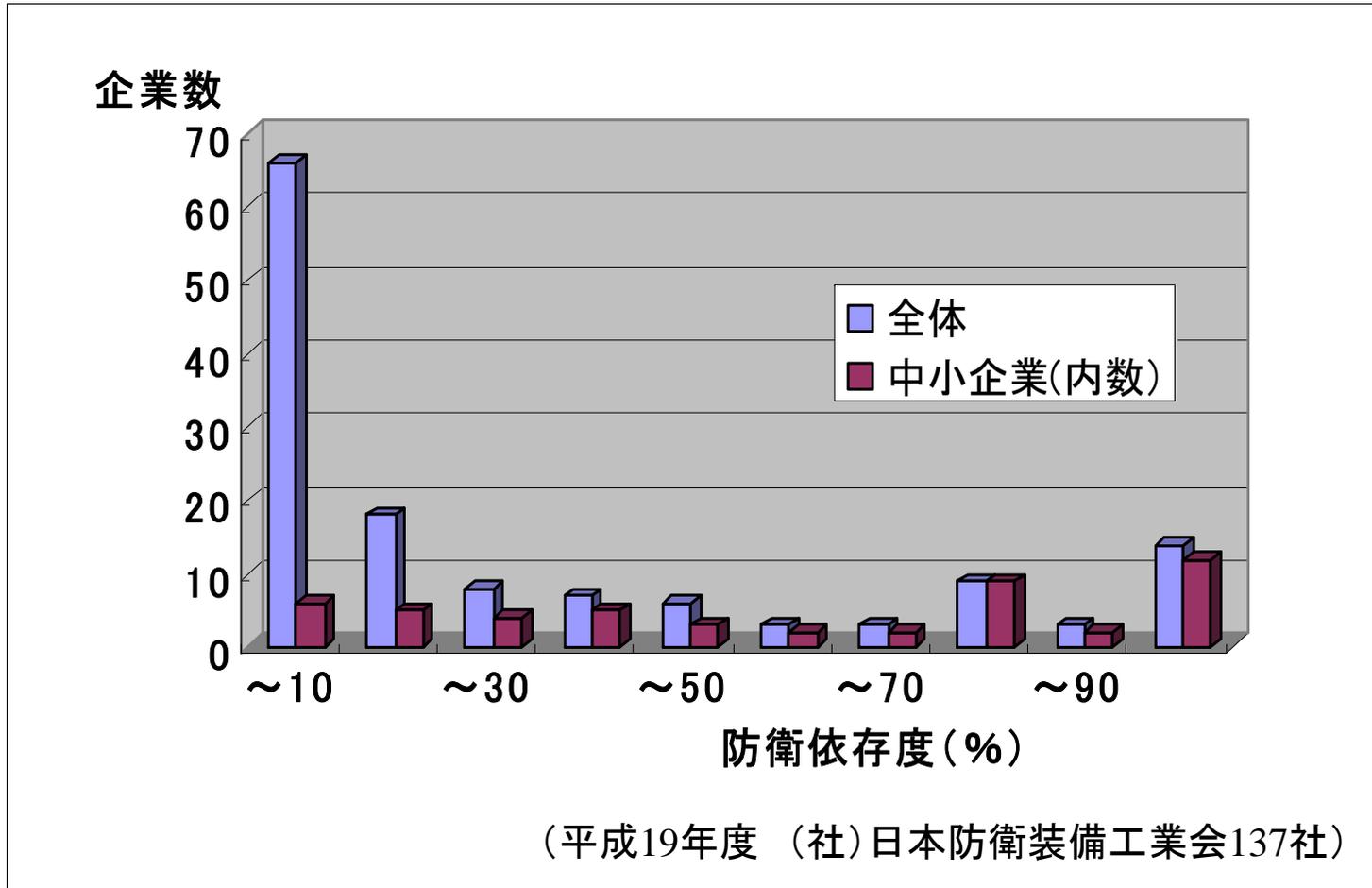
国内の研究開発の促進

国際共同研究・技術開発の機会の拡大(武器輸出三原則の緩和)

4 防衛計画の大綱に対する期待

- ・ 自国の防衛に供する装備品等については、有事の観点から国内開発・ライセンス生産を問わず可能な限り国内で一定量を製造
- ・ 将来に展望が持てる防衛生産・技術基盤の維持・向上のための理念明示

図1 防衛依存度別企業数



中小企業:従業員300人以下、又は資本金3億円以下(製造業)

図2 装備品等の予算の推移

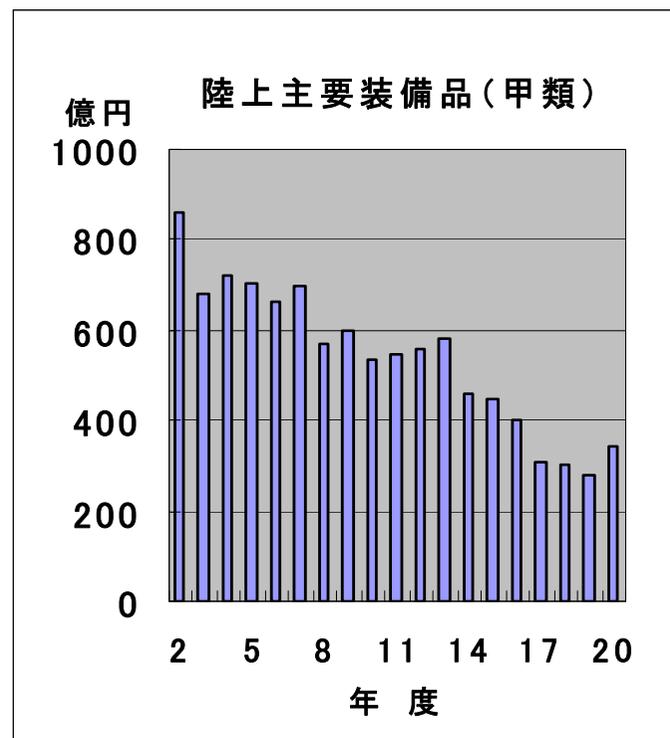
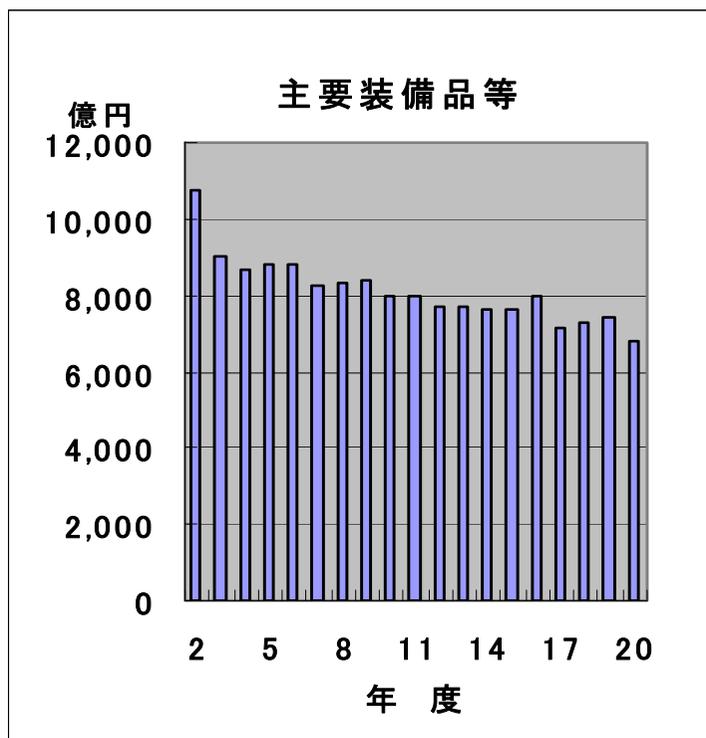
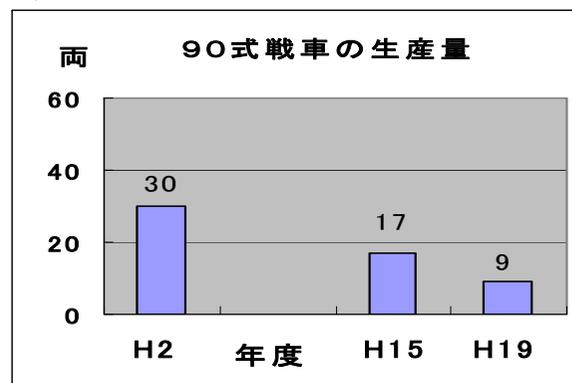
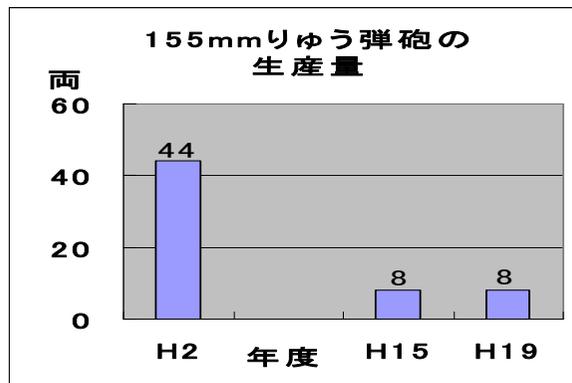


図3 装備品の生産量と製造に直接従事する従業員数の一例

生産量(予算)



H2: FH-70、H15以降: 15HSP(99式)

従業員数

